大学コンソーシアム沖縄　情報共有事項（その２）

2020.7.23 現在

区　　分	【承合事項４】後期からの対面授業の教室の収容率の設定はありますか（沖縄国際大学）
琉球大学	本学は、７月９日現在、活動制限指針レベル１となっております。レベル１の場合に対面授業を行う場合には、人と人との間の安全距離をとるため，学生の席の間に可能な限り距離を確保し（概ね 1～2m），対面とならないような形とし、教室の収容定員に対する受講生の割合が 50%以下であることをひとつの目安としています。
沖縄キリスト教学院大学 沖縄キリスト教短期大学	前期の対面授業開始時、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(文部科学省 令和 2 年 5 月 22 日付事務連絡)のレベル 1 地域の座席間隔例を参考に、密集を回避した座席配置をした結果、教室収容率は 60～80%となっています。後期も状況に応じて対応する予定です。
沖縄大学	前期と同様に後期においても、教室定員の 50%未満の講義のみ対面講義が可能としている。
沖縄女子短期大学	本学では教室の数に限りがあるため、収容率の設定は厳しい状況であるが、前期と同様に分散登校で対面授業の実施の場合は各教室の 50～60%収容率を設定し、対面授業を実施予定である。
沖縄国際大学	後期については､受講者を教室の収容人員の 50%以下の授業は、対面授業を可能としています。
沖縄県立芸術大学	本学のガイドラインでは、収容率という形ではなく、各座席の距離を２ｍ以上離し、対面によらない配置とした上で、学生は指定された席に着席する、としている。 全学教育センターの教室（一般教養等）は、運用上は教室収容人数の 50%未満としている。
名桜大学	本学では、前学期に引き続き、後学期も教室収容率を５０～７０％に設定し、対面授業を運用する予定としている。
沖縄県立看護大学	新型コロナウィルス感染症に係る沖縄県主催イベント等実施ガイドラインを踏まえ、教室収容定員の半分程度以内の人数に設定している。
沖縄工業高等専門学校	文部科学省、高専機構の各通知及び沖縄県の基準並びに北部保健所の助言等に基づき、本校の行動基準を策定し、身体的距離の確保（1m）に加え、向かい合わせにならないことを基準として採用し、講義室、実験室等の収容可能人数を設定している。
沖縄科学技術大学院大学	本学では全部屋 50%までの収容率での利用が許可されております。

大学コンソーシアム沖縄　情報共有事項（その２）

2020.7.23 現在

区　　分	【承合事項５】後期からの教職員の出張、学生の遠征等の制限はあるのか（沖縄国際大学）
琉球大学	○教職員の出張の制限について 　教職員の出張については、現在のところ次のとおりです。 旅行（出張）　事前に渡航先自治体の警戒情報、制限又は要請にかかる情報を確認し、それらの情報に従って旅行（出張）すること。その際は、万が一のため移動経路やどこで誰と会ったかを記録（メモ）するとともに、帰沖（来沖）の日から特に２週間の間は「健康観察」のアプリ・様式等による記録を行うとともに、自身の体調の変化に注視すること。 なお、教職員については、緊急事態宣言対象地域、渡航自粛要請のある自治体、又は危機対策本部が指定する地域（大学病院は別に定める）への渡航は原則禁止とし、やむを得ない事情により当該地域へ旅行（出張）する場合は、学長の許可制とする。 ※7 月 9 日現在、危機対策本部が指定する地域はなし。 　海外渡航については、外務省の海外安全情報（感染症危険情報）で「レベル２：不要不急の渡航は止めてください。」以上となっている国・地域への渡航は、原則禁止とする。 　なお、検疫強化対象地域から帰国する場合は、水際対策として１４日間の待機要請等に応ずる必要があることに留意すること。 また、留学生等海外からの帰国者は必ず所属学部・研究科等の事務部に電話連絡をして、その指示に従うこと。 ※参考資料　https://www.u-ryukyu.ac.jp/news/14819/ ○学生の遠征等の制限について 　学生の遠征等については、現在のところ、資料５－２のとおり取り扱っています。
沖縄キリスト教学院大学 沖縄キリスト教短期大学	状況を見ながらですが、不要不急の出張･遠征は自粛するよう通知する見込みです。
沖縄大学	学生の遠征、それにかかる引率出張などは今のところ制限はないが今後、コロナ状況が悪化した場合は制限することも考えられる。
沖縄女子短期大学	現段階では自粛をお願いしているが、後期からに関しては感染状況によっての判断になる。
沖縄国際大学	９月１日以降の学生の遠征等は、感染防止対策を考慮の上、制限を緩和します。但し、感染状況がより学生部が判断し、派遣･遠征の中止･取り消しを行う場合がある。教員の８月以降については前期授業ほか校務を終了した者の国内への研究上の渡航については、帰着後の１週間の入構禁止等を条件に認めています。
沖縄県立芸術大学	現時点では、教員による海外及び国の緊急事態宣言の対象地域への出張は原則として禁止している。学生に対しても同様である。

名桜大学	コロナウィルス感染防止については、ほぼ週一で対策会議が開かれており、教職員及び学生の移動に関する制限は次のとおりとなっている。 **【諸活動の制限に関する指標】** **ステップ①**　：学内において学生が活動する。 **ステップ②**　：学内において、学生が特定の学外者(予め参加者を確認)と共に活動する。(※現在のステップ　令和2年6月26日) **ステップ③-A**：学外において、学生が特定の参加者と共に活動する。(県内) **ステップ③-B**：学外において、学生が特定の参加者と共に活動する。(県外) **ステップ④**　：通常活動 **■学生の移動及び活動の制限について** 令和２年６月２６日（金）からステップ②へと移行する。 令和２年７月１７日以降のステップ③への移行については、それ以前に判断を行う。 **■教職員の移動及び活動の制限について** 沖縄県の方針に基づき取り扱う。(沖縄県外への渡航は全面解除：6/25現在) 教職員が県外へ渡航し、体調等に不安があると本人からの申出があった場合は、状況等を確認の上、在宅勤務等を認める。 ※東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県への移動は、当面禁止する。(令和2年7月6日現在)
沖縄県立看護大学	実習参加の前提として、教員及び学生は実習前２週間は県外渡航及び大人数が集まる屋内・屋外イベント等感染リスクの高いものへの参加は自粛することとしている。現在は実習以外の制限は無いが、今後コロナウィルスの感染状況により制限することも考えられる。
沖縄工業高等専門学校	教職員の出張の制限に関して、不要不急の場合を除き、県内（離島を含む）及び県外への出張は可とするが、学会等、不特定多数の人が集まる活動への参加は禁止することとしている。なお、文部科学省の「衛生管理マニュアル」における「レベル２」以上の都道府県においては、出張等を含む活動を禁止することとしている。また、海外においても不要不急な渡航は控えるとともに、外務省の基準による「レベル２」以上の国・地域への渡航は禁止することとしている。 学生の遠征等については、後期からの大会出場・対外試合参加等の制限について現在検討中。
沖縄科学技術大学院大学	国内出張への制限はなくなりましたが、教職員及び学生は帰沖後のPCR検査の実施が義務づけられております。海外出張につきましては、引続き渡航の制限があります。

大学コンソーシアム沖縄　情報共有事項（その２）

2020.7.23 現在

区　　分	【承合事項６】今回のコロナの影響によるオンライン授業において「授業の教材作成支援」をされている大学があればご教示ください。 (1) どのようなＰＣソフトを使用されているのか？　ＰＣの性能（CPU、GPU、ﾒﾓﾘｰ等）は？　また、必要（又は、あれば便利）な情報関連機器やＰＣソフトは？ (2) 実際に教材作成を支援できる職員の割合（人数）は？ （例：教務課職員１０人中２人） (3) 実際の教材作成支援において苦労・苦心された点などあれば（名桜大学）
琉球大学	本学では、職員による授業の教材作成支援を行っておりません。
沖縄キリスト教学院大学 沖縄キリスト教短期大学	本学では「授業の教材作成支援」をしていません。
沖縄大学	(1)および(2)について ・「遠隔授業支援本部」（教職員あわせて 13 名）を 4 月に立上げ、専任教員及び非常勤教員に対し、遠隔授業用のコンテンツをつくるための技術的支援を行っている。具体的には Microsoft Teams 上に「遠隔授業に関する情報共有」team を立上げ、Google Classroom, Microsoft Teams,Moodle,Zoom 他について、教員どうしがお互いに質問をしたり、答えたりできるようにした。また、4 月にコンテンツ作成のための 全学的 FD,オンライン FD を複数回実施した。各種の情報は「沖縄大学遠隔学習・Web 講義等ポータルサイト」に集約し、専任・非常勤教員がアクセスできるようにした。 ・MS PPT や keynote 等のプレゼンを動画化する方法、ストリーミングのための Microsoft Streamnig などの使用について上記の仕組みを通して技術支援を行った。 (3) ・教員の IT スキルには差があるが zoom は比較的誰でも使いやすい。ただしライブ配信は学生の通信環境への配慮が必要である。
沖縄女子短期大学	本学では職員による教材作成支援は行なっていませんが、 専任教員はグーグルクラスルームを活用する事で、教員同士で取り組みをしている。
沖縄国際大学	本学では、各教員の裁量で行っていただいております。 1) ソフト Adobe Premiere Pro（動画編集） ムービーテレコ（動画取り込み） MS PowerPoint 、Office365 Forms/Teams 、GSuite Forms PS スペック CPU intel(R)Core(TM)i7-8700 CPU@3.20GHz 3.19GHz 2) CALL 管理室（常駐職員 2 人） 3)・ビデオテープのデータ化 ・現状のシステムでうまく動かない部分を教員に理解していただくこと ・スマホでも表示できるものか動作を確認すること ・パソコンを持っていない教員への基本操作支援

沖縄県立芸術大学	本学では、授業の教材作成は各担当教員自身が行っている。 (1) 遠隔授業は、「Microsoft 365」と「G. Suite forEducation」を利用しており、それらに内包されるアプリケーションをオンライン授業で使用している。 教員の多くはMicrosoftのWord、Excel、PowerPoint、Adobeの Acrobat（Pdf作成）を利用（Macの場合はPages、Numbers、Keynoteを使用する教員もいる)。また、PowerPointのプレゼンテーションファイルに解説音声を付加している例、動画編集ではMacの iMovieや、Adobe Creative Cloudに内包されるPremiereを使っている例もある。 (2) 上記(1)のとおり、授業の教材作成は各担当教員自身が行っており、支援職員の配置はない。各学科室においては、事務職員が基本的なパソコンの使用方法などを補助したり、非常勤講師に対しては、担当する専任教員が支援する事例がある。 (3) 授業の教材作成は各担当教員自身が行っているが、ICTスキルが十分でないため、苦労している様子が見られる。
名桜大学	本学では、授業用の教材作成を支援する部署はない。しかし、今回、コロナ禍によって、本格的なオンライン授業の実施を余儀なくされ、高度なメディアを活用した遠隔授業に係る教材作成支援の重要性を認識させられた。今後は、高度なメディアを駆使した教材作成を支援できる人材、オンライン授業を支援できる人材の育成にも注力する必要があるものと思われる。
沖縄県立看護大学	本学では、「授業の教材作成支援」は行っていない。
沖縄工業高等専門学校	本校では、授業の教材作成は各科目担当教員が行っており、事務職員は教材作成支援を行っていないが、技術職員は遠隔授業における技術的なサポートに加え、教材作成の支援を行ったケースもある。 (1)教材の作成にあたり、主にMicrosoft PowerPointが利用されている。また、同時双方向での授業や質疑応答を実施する際にMicrosoft Teamsを利用している。 教材の作成にあたり要求されるPCの性能等を設定していない。ただし、学生の有する本校推奨機のPCスペックを教材作成の際に考慮している。マイクとカメラが装備されたPCがあれば、教材作成は可能である。また、動画を教材とする場合は動画を圧縮するソフトは必須である。 (2) 本校では、教材作成は科目担当教員が行うものとしており、事務職員の支援を前提としていないが、普段の授業を支援している技術職員の支援を得ており、遠隔授業のサポート及び教材作成支援を合わせて、技術職員８人中８人の支援が可能である。 (3) 教材作成支援における苦労等については報告がないが、遠隔授業を進める上でのサポートでは、使用するツールの操作に不慣れな教員へのサポートに苦労したとの報告があった。
沖縄科学技術大学院大学	本学では「授業の教材作成支援」をしておりません。

大学コンソーシアム沖縄　情報共有事項（その２）

2020.7.23 現在

区　　分	【承合事項７】 (a) 遠隔授業にする事により、学生はどれくらい阻害された又は孤立した気分になっているか。 (b) 遠隔授業の指導の質について。学生、教員双方の満足度や懸念事項を教えてください。 (c) 今回の経験を踏まえ、今後よりテクノロジーを取り入れた授業を展開しますか。展開する場合、どの様なクラスを提供する事を検討していますか。 (d) 遠隔授業で利用したツール（Zoom、Skype、eFront 等）を教えてください。また、そのツールの良かった点、悪かった点を教えてください。　　（沖縄科学技術大学院大学）
琉球大学	令和２年度前学期の授業について、学生及び教員に調査を行う予定です。詳細については、調査結果を確認したいと思いますが、今回は現状で収集した情報の範囲で回答いたします。 **(a) の回答** 保健管理センターや指導教員へ「遠隔授業についていけない」「モチベーションがなくなった」「課題が多すぎる」等の相談が複数寄せられています。後学期に向けて具体的な問題点を洗い出し、改善に繋げていく必要があると考えています。 **(b) の回答** 前学期末に実施予定の授業評価アンケートにより、学生の満足度等を調査する予定です。教員についても、調査を実施する予定です。 **(c)の回答** 今後も引き続き遠隔授業を実施する予定です。 また、昨年末においては、コロナ禍により協定大学からの学生の短期受け入れについても遠隔で行いました。今後も状況によってはヴァーチャルの短期留学の実施も想定しています。 **(d)の回答** 大学としてツールの指定は行わず、各教員が利用しやすいものを選択されています。主に利用されたツールは次の通りです。 WebClass（Learning ManagementSystem） Microsoft Teams Zoom GoogleClassroom YouTube 教務情報システム等
沖縄キリスト教学院大学 沖縄キリスト教短期大学	(a)本学で実施した遠隔授業についてのアンケートの項目として、そのような質問は含んでいないため直接的な学生の疎外感や孤立感はわかりませんが、遠隔授業で困った点として、遠隔授業で使われる様々なツールの使い方がよくわからず、とまどいや焦りが大きいことは多くの学生に共通して見られました。 (b) 遠隔授業の理解度については 90％が理解できていた。しかし、使い慣れないツールの利用や、不安定な Wi-Fi 環境、等デバイスやインフラに対する不満があった。授業の指導については、全体的に満足度

	は高かったが、課題の多さへの不満が多かった。 (c)未定 (d) Zoom、Googleclassroom、iLAS　等　（ツール別アンケート未実施）
沖縄大学	(a)今後全学的な調査が必要だと感じています。特に新入生については孤立しがちであったこと、教員の支援で交流する自主的なグループができた例があったことが報告されています。 (b)遠隔授業の指導の質については、前期終了時に授業改善アンケートを予定しているので、そこである程度把握できると考えています。初動期には不慣れな教員も多く、連絡方法も確立されていなかったことから、学生から戸惑う声が出ました。 (c)今回の遠隔授業の経験で教員及び学生とも LMS を初めとする ICT ツールにはかなり慣れたと思われます。教員と学生のコミュニケーションのツールとして効率的な面も多々あり、今後も活用されていくと考えています。 (d)コロナの影響で遠隔講義を行うにあたって、大学で使用している学務システムと、Zoom や Teams、Moodle、グーグルクラスルーム等、任意のツールを使ったりと様々でした。 学務システムは、履修者名簿と連動しているので、学生の連絡先を入力することなく、受講生へ課題やお知らせを配布することができます。 任意のツールにつきましては、先生方が普段使っているので、使い慣れているというメリットがあったかもしれませんが、教員側で学生を招待したり、メールアドレスを入力したり必要があったかと思いますので、受講生との紐付けがない点に差があったと想像しています。
沖縄女子短期大学	(a)本学は分散登校による対面授業を実施しており、特に阻害感や孤立感はないかと思われるが、遠隔での課題の多さに不満の声はある。また、後半に入り、欠席の多い学生が複数見受けられる。今後、授業評価アンケートで対面授業と遠隔授業について実態把握する予定である。 （ｂ）グーグルクラスルームを利用している教員が多いが、他のオンライン等については、学生の PC 保有率やギガ数の関係で苦慮している。 (c)取り入れることに検討中であるが、ツール等については、FD 委員会等で審議する予定である。 （ｄ）グーグルクラスルーム、Zoom、グレクサ
沖縄国際大学	a)調査等を行っていませんが、メール等で相談が多く寄せられています。特に新入生やその父母の方々が、不安に感じているようです。 ｂ）非常勤教員への授業等のサポートについて調査を実施し、意見を収集し学生、教員双方の懸念事項改善にむけての対応を行っています。 C)これから検討する予定です。 ｄ）本学では Microsoft365(主に Teams,forms,stream)、GSuite(主に meet,CaLabo,Bridge と平常時から全学生･教員が利用しているポータルサイトの簡易 LMS 的な機能を利用しています。良かった点は､複数のツールを用意したため各教員が自分の

	やりたい授業形態に合わせてツールを選択できた点です。悪かった点は、ツールが複数あるため、学生にとっては授業毎に異なるツールを使いこなす必要があり、ツールの習得自体が負担になっている点です。
沖縄県立芸術大学	(a) 現時点で調査は行っていないが、不安や不満の声はあるように聞いている。 (b) 今後、授業評価アンケート等で確認していく予定。 (c)コロナ禍後のオンライン授業の提供等については、授業の質、効果、学生の満足度等も踏まえ、研究していきたい。 (d)令和２年度前学期については、Microsoft 365（Teams 等）及びG Suite for Education（GoogleClassroom、GoogleMeet 等 ）を利用。なお本学では、現時点ではZoomの使用を推奨していない。 Microsoft 365とG Suite for Educationの双方にそれぞれ長所・短所（あるいは問題）があり、どちらか一方にすることは難しい。 ＜Microsoft 365＞ 1. 「Teams」を用いてチャット・WEB会議機能・資料配布（ファイルにアップロード）・授業前後アンケート（Formsを組み込んで使用）など、リアルタイム型遠隔授業、ハイブリッド遠隔授業を実施することができるため便利。特にチャット機能が充実しており、使い勝手が良い。 2. ただし、オンライン版は、デスクトップ版に比べて著しい機能制限があり、情報系授業（本学ではコンピュータ情報論）では事実上、使用することが困難。また、Microsoft 365に内包されるアプリケーションを通じて学生や教員間でメールをする場合、Microsoft 365に内包されるOutlookに送信されるようになっており（しかも外部転送ができない）、一部トラブルが生じている。 3. また、本学では、Microsoft 365の「SharePoint」を使用して、全ての授業科目で教員・学生がファイルのアップロード&ダウンロードができるようにしているが、「SharePoint」内において、学生によるファイル書き換え問題や、他学生の提出ファイルの覗き見などの問題がある。（「Teams」でも同様の問題あり。） ＜G Suite for Education＞ 1. 主にClassroomを使用し、Meet（Teams のWEB会議機能と類似）を併用して授業運営している教員が多い。チャット機能はMicrosoft 365の「Teams」に劣るが、課題の配布、採点、提出状況一覧など、授業運営に必要なことが直感的に使用できるので、主にMacユーザーが利用している。
名桜大学	a) 通常の授業から遠隔への移行期間が短く、使用されるシステムが多岐に渡った。そのため、受講の際の手間（ログインや準備

	等）が多く、また、通常であれば配布された資料を見ながら授業を受けられるが、受講用の機器（PC、スマホ、タブレット）の画面が一つしか無い学生が多く、不自由を感じている声は多く聞かれた。 対面では質問も授業終了後、直接教員へ確認が出来たが、遠隔だとそれが出来ないとの声も多かった。 遠方（県外）から入学した学生が約半分を占めていることから、２ヶ月近く友人等が出来ないなど、新入生は特に孤独を感じたのではないかと思われる。 (b) 遠隔授業が不慣れな教員が多数のため、指導の質は通常の面接授業より低下していることが考えられる。また、それに伴い、満足度も低下していることが予想される。なお、明確な情報の把握は、学期末に実施する**『授業評価アンケート』**にて得られる予定である。 (c) 機材や機器等の充実を図るとともに、システムの統一化の検討を図っていく。また、操作や遠隔授業の教材作成が不慣れな教員のために、より丁寧なサポート体制を充実させていく。クラス提供に関しては、これから検討する予定である。 (d) 本学では、Universal Passport（日本システム技術株式会社）及びteams（マイクロソフト社）を推奨とし、その他ツールで授業の実施を希望する教員に関しては、「全員を授業に参加させる」ことを条件に許可した。 良かった点、悪かった点としては次のとおり 【良かった点】 既に全員が使用できる（Universal Passport） アカウントを管理出来る（Universal Passport、teams） 使用者の要望のレスポンスが迅速（teams） 機能が充実している（Universal Passport、Teams） 【悪かった点】 一部システム障害が発生する（Universal Passport、Teams） 出席確認等が出来ない（Teams）
沖縄県立看護大学	(a)遠隔授業で孤立したとの学生相談は１名であった。 (b)学生、教員の満足度調査は行っていない。集合しての授業が苦手な学生にとっては、自宅で遠隔授業を受けられることは好評のようである。懸念事項は、学生側の通信環境やPCの不具合で遠隔授業を中断した学生が数名みられたことで、改善に向け検討している。 (c)学則に遠隔授業の明記が無いので学則を改正し、遠隔授業を取り入れる方向である。遠隔授業とアクティブラーニングを組み合わせる等多様な学習形態を検討する。 (d)遠隔授業で利用したツールは主にZOOMである。ZOOMは、使用方法が簡便で教員や学生が問題なく活用できていた。通信容量の関係で、教員のみ画面をONにしていたので学生の反応がわからず、授業がやりにくいとの意見があった。

沖縄工業高等専門学校	(a) 本校では、インターネット環境が整っていない学生に対してルーターを貸し出すことで、全学生が遠隔授業を受講することができており、そのためか、アンケート結果や担任による面談などからは学生の「阻害された気分」を読み取ることはできなかった。ただし、アンケートには登校を希望する回答が多く見られたので、学校との直接的な関わりを希望する学生が多いことを認識している。 (b) 学生に対し遠隔授業についてのアンケートを行った結果、「満足している」「どちらかといえば、満足している」が合わせて 6 割を超えており、概ね満足しているようである。教員に対してはアンケートを行っていないが、同一の科目を複数のクラスで受け持っている教員からは「(対面授業よりも) 負担が減った。」との声があった。懸念事項としては、遠隔授業により、学生は全ての科目で課題の提出が増えたため、それが学生の負担となっている。また、パソコンの前で長時間学習することにより、目、肩、腰への負担が増えるため、集中力を持続させることが (対面授業より) 難しい。さらに、遠隔授業にスムーズに対応することができず、受講や課題作成が捗らない学生が一定数いることを憂慮している。 (c) 台風来襲などによる休講を補う目的で、遠隔授業の導入を検討したいと考えている。 (d) 本校では、オンデマンド型の遠隔授業では、主に授業支援システム(Blackboard)を使用している。なお、科目によってはリアルタイム型の遠隔授業をおこなっており、その場合のツールは Microsoft Teams を使用している。それぞれのツールにおける、学生にとってのメリット・デメリットは以下のとおりです。 ○Blackboard メリット (自分のペースで学習が出来る。聞き逃したり、板書が追い付かないといった心配がない。) デメリット (すぐに質問が出来なかったり、メールで質問しても、担当教員からすぐに返信があるわけではないため、分からない部分があった際に困る。) ○Microsoft Teams メリット (学生からの質問等に、すぐに対応してもらえる。) デメリット (データ通信量が増える。)
沖縄科学技術大学院大学	(a) 現在アンケート調査中。 (b) 1. 直接質問する機会が減少するなど学生からは対面授業を希望する声が多く聞かれた。 2. 約 10%の学生が遠隔授業では質が下がったと答えている。 3. 共有すべき教材等は良好であった

	(c) **基本的には対面授業を行っていくが、引き続きオンライン授業を行うためのソフトウェアなどを検索等を実施する予定。どのようなクラスを提供するかは未定。** (d) 使用したツール : Zoom, eFront i. 良かった点 1. 一つのリンクで学生が授業に参加できる 2. 実際の教室から先生がホワイトボード等を使用してオンライン授業してもカメラがその方向に向けることができるため、見やすい。 3. 教材の共有がしやすい ii. 悪かった点 1. 試験の実施が難しい 2. 画面の共有など、テクニカル的な部分で時間を取られる 3. 発言するために(Zoom 内の機能を使用して)手を挙げてもなかなか気づかれない 4. ディスカッションをするのが難しい

大学コンソーシアム沖縄　情報共有事項（その２）

2020.7.23 現在

区　　分	【【承合事項8】障がいや病気により合理的配慮を必要とする学生が履修している場合の遠隔授業対応について　　（琉球大学）
琉球大学	遠隔授業等において 障がい等に起因して生じやすい課題と対処法について、授業担当教員へ周知を図っている。（琉大資料1を参照）
沖縄キリスト教学院大学 沖縄キリスト教短期大学	・配慮を要する学生に対しては、各学期に合理的配慮通知を文書にて通知していますが、発達障害学生に対し、遠隔授業前に個別に google classroom、iLAS 等の使用法について確認をし、併せて非常勤講師に通知文と電話で配慮の依頼を行った。 対面授業開始後、本人から「課題提出のスケジュール管理が大変だった」との声があった。（但し一般学生との比較は不明） ・肢体不自由の学生は、家族がサポートを行った。
沖縄大学	聴覚障がい、肢体不自由の学生が在籍しているが、遠隔授業に関する支援の要望は特になかった。
沖縄女子短期大学	合理的配慮を必要な学生の調査を行ったが、現段階では申し出がない。
沖縄国際大学	本学では、学生支援室において①音声・映像教材を活用した代替授業。②遠隔授業（オンライン）資料を PDF ファイルで提供した代替授業。③提出期限延長等の配慮を行いレポート等の課題等。以上の授業サポートを行うためチャット機能を使った要約筆記を行うための学生サポーターの配置、聴覚に障がいのある学生のためのコミュニケーションアプリの利用、動画配信、Youtube、PowerPoint を利用し字幕またはキャプションを追加してし視聴等を行っています。
沖縄県立芸術大学	基本的には、面接授業時と同様の配慮を行いつつ、各学生からの要望に応じて、個別で電話等を利用し質疑応答ができる時間を設ける等の配慮を行っている。
名桜大学	本学では、現在身体障がい学生の要支援者を有しておらず、発達障がいや精神障がいにより支援を受けている学生も遠隔授業への環境に適応しており、対応を希望する声が聞かれないため特に別途対応等は行っていない。
沖縄県立看護大学	該当なし。合理的配慮を要する学生ではないが、視力が弱い学生からは ZOOM を用いて個人個人のパソコン上に資料を投影する授業は「見やすい」との意見がある。
沖縄工業高等専門学校	多くの場合、（他の学生と同様であるが）課題の提出遅延等は猶予措置が取られている。課題等の提出においては、科目担当教員、担任（団）等で情報共有を行い、Teams での面談や電子メール等で連絡している。 新入生（１年生）については、これまでの状況が未知なため、掌握しづらい面が挙げられている。そのため、１年生の登校開始日は他の学年より早めに設定されている。
沖縄科学技術大学院大学	該当なし

大学コンソーシアム沖縄　情報共有事項（その２）

2020.7.23 現在

区　　分	【承合事項9】受講人数が著しく少ない授業科目を開講しないことについて 本学では，学部共通の規則で「受講人数が著しく少ない授業科目は，開講しないことがある」と定めていますが，共通教育については，適用せず受講生が数名でも開講しています。 教室の有効な活用や教員負担の低減などの観点から，受講生が数名の場合は開講しないことも考えられますが，県内大学では，開講（専門教育，共通教育）のための最低受講学生数について，ルール化されているででしょうか。（琉球大学）
琉球大学	本学では，学部共通の規則で「受講人数が著しく少ない授業科目は，開講しないことがある」と定めていますが，最低受講学生数については，ルール化されていない。
沖縄キリスト教学院大学 沖縄キリスト教短期大学	登録調整期間後、10 名に満たない場合は閉講検討対象科目となります。
沖縄大学	本学では、コロナに関係なく、通常期においても、登録者が 10 人未満の科目につきましては、専門科目・共通科目に関わらず不開講としております。ただし、大学院につきましては、受講生が一人でもいれば開講となります。
沖縄女子短期大学	本学は、10 人未満の受講者の場合は閉講としている。 （ただし、専任教員除く。）
沖縄国際大学	本学では、一般講義では 10 人未満、演習・実習等では 5 人未満の科目については、原則閉講とすることを取扱要領で定めています。（資格関係科目は除く）
沖縄県立芸術大学	本学では、最低受講学生数等の定めはなく、受講人数が少ない授業科目であっても開講している。
名桜大学	本学では、肥大化した科目群をスリム化、体系化する目的から、平成１４年２月に**『講義開講基準に関する内規』**が制定された。その内規に、**「(1)　必修科目」、「(2)　教育職員の免許取得に関する科目」、「(3)　留学生のために開講される日本語及び日本事情科目」**以外の講義科目で、登録者が１０人未満の場合、原則閉講とし、当該講義科目が翌学期も連続して登録者が１０人未満となった場合は、翌々学期からは自動的に閉講にする旨の文言が明示されている。しかし、学則上、必修の講義科目ではなくても、学科・専攻の卒業要件上必修扱いとなっている講義科目や諸資格取得上必要な講義科目等も多々あり、また、少人数教育を謳い、広報しながら、一方では少人数登録講義科目の閉講の促進を図るという矛盾を孕んでおり、運用が難しく、この内規を適用して閉講になった講義科目は無い（或いは僅かな数である）ものと記憶している。
沖縄県立看護大学	本学では、履修登録上の注意として、「選択科目において、履修登録者が 10 名未満の時は開講しないことがある。」としているが、最低開講人数はルール化していない。
沖縄工業高等専門学校	本校では、最低受講学生数について特に定めていない。受講生が数名でも開講している。
沖縄科学技術大学院大学	本学は入学定員数も少数な為、最低受講学生数の設定が御座いません。